

ものづくりに対して誇りを持って働ける会社であり続けたい

株式会社文田建設 (新開町)

土木工事業を主に、市内のさまざまな工事を請け負っている株式会社文田建設。

土木工事と聞くと、大きな重機を使って地面を掘り起こしているイメージなどが思い浮かぶますが、実際はどのようなことをしているのでしょうか。令和2年7月豪雨で自社も浸水被害に遭いながらも、進み続ける代表取締役文田賢一さんにお話を伺いました。

Vo 1.18



▲ コンクリート等のがれき類から砕石を作るリサイクルも行っています

◀ 甘木の調整池整備工事。コンクリートの製品で法面を保護する作業を行っています

資源循環型社会の形成に貢献

昭和30年の創業以来、主に土木工事業を手掛けてきました。その中でも最近、上下水道の工事が多いです。水を流すためには配管に傾斜を付けなければなりません。その調整はミリ単位で行います。大きな重機で大胆に工事をしていくように見えますが、実はとても細かい作業も行っています。

平成22年からは、建設工事の際に発生する不要になった土をリサイクルした「改良土」の製造を始めました。工事で掘り出した土は、粒の大きさや水分にばらつきがあるため掘ったところにそのまま埋め戻しても十分な締め固めができません。当社では、不要土を受け入れて改良し、埋め戻しに適した土にリサイクルしています。

さらに、リサイクル改良土を主原料とした「刃金土(はがねど)」や「鞆土(さやど)」の製造技術も全国で初めて開発しました。これらの土はため池の工事に使われます。通常は特定の山から採取した土を使いますが、今は全国的に枯渇し確保が困難な状況です。そのため、人工で製造できる技術を開発したことは全国的に注目され、さらに品質もよいと高く評価いただき、多くの公共工事にも使われています。

このように当社では限りある資源を無駄なく再利用することで、環境に配慮した企業活動を行っています。

ひとつとして同じ現場はない

何もないところに物を作るということは、何度経験を積んでも難しいですね。



イチオシ! 社員!!

碓井 啓太さん

中途採用で入社し、まもなく10年目に入ります。仕事をしながらさまざまな資格を取得し、現在は現場で施工管理や品質・安全等の管理を行っています。そのほかにも、当社は3つのISO認証を取得していますが、その管理責任者も任されています。忙しい毎日ですが、とてもやりがいを感じています。

また、十数年前から市内中学校の職場体験の受け入れや、中学校に向向いての職業講話なども行っています。職場体験をした子が高校卒業後に入社してくれたときは大変嬉しかったです。

今後は...

さまざまな工事・現場を経験しながら社員みんなで成長し、全員が満足して長く働ける会社になっていくことで、新しい仲間を増やしていきたいですね。